

令和3年度秋季新潟地区大会 感染防止基本計画書

【運営スタッフ・選手共通周知事項】

1. 全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に掲示する 掲示場所 大会本部
- マスクや手袋を外した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒する

2. 手洗い場所

- 布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない
- 「手洗いは30秒以上」

3. 休憩・待機スペース

- 施設内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、イス等）をこまめに消毒する
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する

4. 洗面所（トイレ）

- トイレの蓋を閉めて汚物を流す

5. 飲食

- 参加者は、飲食物を手にする前に、手洗い・手指消毒を行う
- 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを用いる
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする

6. 大会会場

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う

7. ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、全てのゴミを持ち帰り、自宅で処分する（感染症拡散防止の観点から）

8. その他

- 参加者への留意点を顧問会議・監督会議を通じて周知する

【生徒向け周知事項】

1. 大会参加・待機時について

- 監督・顧問は学校ごとに大会参加者一覧および選手より提出された様式2をまとめて受付時に提出する
- 自宅出発前に健康状態確認シート様式2を記入する（受付時に学校ごとにまとめて提出）
- 平熱を越える発熱がある場合や、体調に異変を感じた時には参加を取りやめる
（不参加となった時は、顧問の先生に詳細について確実に伝える）
- 外履きは袋に入れて自分の手元に置く（下駄箱を使用しない）
- 観戦は、指定された場所で距離を空けて行い、むやみに場所を移動しない
- 待機時など試合以外はマスク着用する
- 大会期間中、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※少なくとも2m）を空けて行動する
- ウォーミングアップは、周囲の人と距離を空けて行う

2. 試合時について

- コートへの入退場時は一定の距離を保った上で、指定の時間にコートに入る
- 挨拶の際は十分な距離を取り、審判・選手と握手は行わない
- マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする
（特にバドミントンは強度が高く呼気が激しくなるため、試合直後はより一層距離を空けるようにする）
- 試合中に意識的な声出しは行わない
- コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに収容する
- ラケット、タオルの貸借をしない
- 汗をコート・コートサイドに投げることは絶対にしない
- 床の汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用する
- 飲料をこぼしたときにはモップで拭き取る（自身のタオルを使用しない）
- シューズの裏を手で拭くことはしない
- プレーヤーまたはコーチとハイタッチ等の身体的接触を行わない
- コーチングは一定の距離を保った上で、必要最小限の内容で短時間のうちに行う
- 審判業務・本部業務にあたる場合は、使い捨て手袋を用いる

3. 試合後・飲食について

- 残った飲食物は自宅まで持ち帰る
- 施設にある手指乾燥機は使用しない
- 当日の試合・審判業務が終了し、顧問の先生から解散の指示が出たら速やかに帰宅する

【大会委員（各校顧問）向け周知事項】

1. 大会前の準備について

- 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討する
- 参加者が利用できる施設が指定、案内されている
- 手指消毒のためにアルコール消毒剤を用意する 設置個数 2個
- 下駄箱の利用禁止（各自ビニール袋で自己管理）
- 人と人が対面する場所（受付・本部席等）が密にならないような工夫がされている／十分なスペースが確保できない場合は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽されている（定期的な消毒を実施する）
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- 手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意する 設置個数 2個
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする

2. 大会業務執行時・待機時について

- 自宅出発前に健康状態確認シートは記入する（受付時に提出）
- 平熱を越える発熱がある場合や、体調に異変を感じた時には参加を取りやめる（不参加となった場合、引率者が不在にならないように対処する）
- 外履きは袋に入れて自分の手元に置く（下駄箱を使用しない）
- 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席は移動しない
- 飲食時以外は原則としてマスクを着用する
- 業務に携わらない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※少なくとも2m）を空ける

3. 当日の確認事項について

- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- マスクの適切な着用がされている
- 会場の換気が適切に実施されている（定期的な換気又は窓・ドアの開放）
- 各所ドアの常時開放する（ドアへの接触を防ぐため）
- 入場可能者の管理・チェック（特定できない人が入らない様にする）
- 受付担当者は、手袋の着用・手洗いの徹底などを行う（プログラム等の受け渡し時に接触がないように工夫する）
- 会場内で、咳など体調不良の症状がある人の巡回を行う（必要に応じて検温し、帰宅してもらう）
- 全てのゴミの持ち帰りの事前周知をする（場合によってはゴミ箱の撤去をする）
- 利用者に食事場所が周知されおり、遵守されている
- 待機場所・更衣室・洗面所など人数制限を行い、適切に守られている
- ギャラリー・洗面所の利用ルールが守られている
- 施設の定期的な消毒（洗面台・ギャラリー・手すり・机・椅子等）がされている
特にトイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
- 審判業務・本部業務に携わる生徒は使い捨て手袋を使用する
- 椅子等の共用品の定期的な（コートにある物品は毎試合終了後）消毒がされている
- 毎試合終了後、コートにモップを掛ける